おすすめ

天童エリア 観光スポット

1 舞鶴山

天童市の中心部にある舞鶴山は、まちのシンボルとして市民に親しまれています。一帯は市民の憩いの公園になっていて、山頂の展望広場（平成21年度に再整備）からは、月山や朝日連峰、最上川などが一望できます。桜の名所としても知られ、4月中旬の土・日にはおよそ2,000本の桜の下で、天童桜まつり「人間将棋」が行われます。

2 旧東村山郡役所資料館

天童市の歴史や文化についての郷土資料を収集、保存、展示しています。また、2ヶ月に1回程度の頻度で企画展が行われています。毎月3月に開催される「天童の雛まつり」では、天童市内の旧家から古今雛などをお借りして特別展を開催します。
資料館の建物（旧東村山郡役所）は山形県指定有形文化財になっています。
所在地　山形県天童市五日町（いつかまち）2-4-8（天童駅から歩いて10分程度）

3 道の駅天童温泉

地面積約2万平方メートルの広場に音楽に合わせ形を変える噴水がある。「もり～な天童」には、ソファーに座り」森林浴を疑似体験できるコーナーが。天童温泉へは徒歩3分程の近さ。
山形県天童市貫津鍬ノ町2551
TEL 023-651-2002

4 広重美術館

広重美術館は、天童とゆかりの深い幕末の浮世絵師安藤広重の作品を中心に、2代･3代･4代広重の作品も併せて収集展示されている。
〒994山形県天童市鎌田本町1丁目2番1号
TEL 023-654-6555
FAX023-654-6554

5 倉津川ライトアップ

天童市役所の南側には、最上川に流れ込む倉津川があります。この倉津川には「王将橋」や「金将橋」など、将棋駒にちなんだ名前の橋が渡されています。川沿いには約1キロに渡って桜並木があり、天童市役所の北側にある天童市立図書館と天童美術館の周りにも桜が植えられています。

平成鍋合戦

1996年より毎年恒例となった平成鍋合戦は山形県内はもとより、東北地方や外国の鍋料理を一度に味わうことができるイベントです。一番早く100杯を売り切った鍋料理が「鍋将軍」（なべしょうぐん）の称号を手にすることができます。また、参加者の投票によって人気一番になった鍋料理は特別賞「鍋の局」（なべのつぼね）の称号を手にすることができます。
会場内では特設ステージが設置され、市内幼稚園児童によるアトラクションや「大抽選会」など、いろいろなイベントが行われます。
天童市山王1-1 023-655-5900

奥の細道フルーツライン

山寺街道沿線には多くの果樹園があり、「奥の細道フルーツライン」と呼ばれる。サクランボや、モモ、ブドウ、リンゴなど季節ごとに、フルーツ狩りが楽しめる。

観光果樹園

今野観光果樹園	023-654-0187
花笠観光果樹園	023-653-7667
天童観光果樹園	023-654-1558
高柳果樹園	023-653-7666
佐藤農園	023-653-5147

◆さくらんぼ 6月～7月中旬 ◆プラムもも 7月中旬～8月
◆ぶどう 8月中旬～10月中旬 ◆りんご 9月～11月
◆ラフランス 10月～12月中旬

天童ワイン

山形盆地のほぼ中央部に位置する天童市。その周囲の山々には、葡萄畑が大きく広がっています。葡萄の開花から収穫期までの降雨量が最も少なく、日照時間が日本一長い典型的な盆地型気候で葡萄栽培の理想の郷になっています。このような気候風土から収穫された最良の葡萄を年間を通して温度、湿度の一定な土蔵でしずかに醸し育てた手作りのワインです。
天童市大字高擶南99　TEL023-655-5151

人間将棋

天童の春を彩る「人間将棋」は昭和31年から行われている伝統行事です。
甲冑を身にまとった人間が将棋駒になってプロ棋士が対局を行うイベントで、毎年4月、天童市の桜の名所･舞鶴山の山頂広場で開催され、将棋ファンのみならず、多くの観光客で賑わいます。

実際に芭蕉が歩いた道

おすすめコースコース

芭蕉が通ったと言われるルート巡る（山寺街道へ続く）全行程約3時間旧羽州街道（鈴木清風から馬を借りた芭蕉は約7時間で山寺へ着いたと曾良日記に書かれている）

天童駅 →12分→ 旧東村山郡役所（城山公園、翁塚） →6分→ 北目の道標 →10分→ 休石 →10分→ 梨ノ木清水 →2分→ 旧山寺街道 →8分→ 岩下 →1分→ 一本杉 →12分→ 奈良沢南 →10分→ 石倉 →8分→ 姥神 →6分→ 上原 →10分→ 岩倉芭蕉句碑 →12分→ 中地蔵 →8分→ 地蔵堂 →30分→ 山寺駅

お得な美術館共通券　山寺･天童･蔵王『宝の細道』

山寺･天童･蔵王の6つ美術館･博物館の入館券がセットになったお得なチケットです。
通常入館料合計3,700円のところ 大人1,600円（大人料金のみ）
･山寺芭蕉記念館　･山寺 後藤美術館　･広重美術館　･出羽桜美術館
･天童市美術館　･わらべの里（蔵王）
※ 山寺風雅の国のレストラン&喫茶（5%引）も受けられます。
※ チケットは各施設の窓口でお買い求めいただけます。
※ お買い上げ日から6ヶ月有効です。
お問い合せ　山寺･天童･蔵王『宝の細道』推進委員会（広重美術館内）
電話 023-654-6555

今に残る芭蕉の足跡

休　石

松尾芭蕉も旅の途中でここで休んだと言い伝えの残る「休石」現在は街の様子も変わり店舗の裏の歩道脇にたたずんでいるが、宝地蔵と並んで当時の名残を残している。

旧羽州街道

かつての羽州街道は現在、立石寺までの道筋が一部が失われ、現山寺街道（天童山寺公園線）と重複して姿を消しているところもあるが家並や果樹園などの間を縫いながら芭蕉の足跡をたどってみることができる。

城山公園の翁塚

宝暦8年（1758年）8月、天童の俳人菱華亭池青が、おくのほそ道行脚70年を記念して、念仏寺境内に「古池や蛙飛びこむ水の音」の句碑（右）を建立し翁塚としたもの。

北目の道標

「右　若木公（若松）道　左　湯殿山道」と記された道標で「北目の道標」と呼ばれる。左の写真について、右は若松観音へ通じる道（これまで辿った道の方向）で、左は寒河江を経由し湯殿山に通じる道。

天童駅 周辺散策

全部歩くのはちょっと大変という方には9人乗り無料周遊ワゴン車 **観光駅馬車** もあります。

天童駅前発

9:40	10:40	12:15	13:40	14:40	15:40

旧東村山郡役所 → JR天童駅 → 出羽桜美術館 → 広重美術館 → 御苦楽園 → 天童市美術館 → 観光果樹園 → 篠田病院 → 風雅の国 → 道の駅 天童温泉 → JR山寺駅

芭蕉一行は、尾花沢から楯岡、六田など5つの宿を経、山寺街道の起点となる天童一日町に到着した。天童宿は、山形宿と楯岡宿の間宿で、南から伝馬町の一日町、五日町、三日町、続いて田町の四町が羽州街道沿いに並び、裏手に小路町と中町があった。芭蕉は、一日町の北詰付近で羽州街道と別れ、山寺街道に入った。現在、立石寺までの道筋は一部が失われ、現山寺街道（天童山寺公園線）と重複して姿を消しているところもあるが、家並や果樹園などの間を縫いながらこの折の芭蕉の足跡をたどってみることができる。